

明治四十年法律第二十一號中改正法律案外一件特別委員會會議事速記録第一號

付託議案

樺太ニ於ケル鹽專賣ニ關スル法律案

委員氏名

- | | | |
|------|-----------|------|
| 委員長 | 子爵渡邊 | 千冬君 |
| 副委員長 | 男爵東郷 | 安君 |
| | 男爵牧野 | 忠篤君 |
| | 男爵日賀田種太郎君 | |
| | 男爵南岩倉 | 具威君 |
| | 若槻 | 禮次郎君 |
| | 室田 | 義文君 |
| | 菅原 | 通敬君 |
| | 横山 | 章君 |

大正十二年二月二十二日(木曜日)午後一時十八分開會

○委員長(子爵渡邊千冬君) 唯今ヨリ明治四十年法律第二十一號中改正法律案、及ヒ樺太ニ於ケル鹽專賣ニ關スル法律案ノ委員會ヲ開會イタシマス、先ツ兩案ヲ一括シテ政府ノ御説明ヲ願ヒマシテ、御質問ハ別々ニ願ヒタイト思ヒマス

○政府委員(永井金次郎君) 唯今議題ニナリマシテ法律案ハ極メテ簡單ナ法律案デゴザイマス、樺太ニ於キマシテ此案ニ記載シテアリマス通リ、樺太ノ租税ニ關スル法律デゴザイマス、其法律案ノ第一條中ニハ税目ガ限ラレテアリマシマス、樺太デ、第一ハ市街宅地税、第二ハ所得税、第三ハ營業税、第四ハ酒造税、第五ハ醬油税、第六トシテ漁業税ノ一箇條ヲ設ケタイト云フノデアリマス、條文トシテハ極ク簡單デゴザイマスガ、併シ六項トシテ漁業税ト云フ一項ヲ追加スルノデアリマスガ、元來此漁業税ハ新規ノ租税デハナイノデアリマス、唯今マデ漁業料ト云フモノガ徴收シテ居タノデアリマス、漁業料ト云フモノヲ徴收シテ居タノヲ、漁業税ト直シマシムルハ、是ハ漁業料トナデ居リマシト租税ノ資格ニ適入リマセヌノデアリマス、唯今ハ多額納稅者ト云フヤウナ資格ニナリマシテモ、漁業料デハ納稅資格ニナリマセヌ、或ハ財產證明ヲ取リマシテモ漁業料デハ其資格ニ適入リマセヌ、ソレデ漁業税ニ直シマシムルト其納稅資格ニ編入サレマシムル、爲ニ當業者ガ各種ノ點ニ於テ利益ト便利ガアルノデアリマス、又政府ノ方カラ申シマシムルト、ドウデアアルカト申シマシムルト、政府ノ方カラ申シマシムルト收入ヲ確實ニ取ルコトガ出來ルノデアリマス、ト云フノハ滯納...若シ納メナイ者ガアリマシレバ滯納處分デアリマシムルカ、其他手續ガアリマシムルカ...

ニソレハ收入ヲ確實ニ得ラレル點ガアルノデアリマス、要スルニ當業者モ便利、政府モ便利デアリマス爲ニ之ヲ改正イタシタイノデアリマス、尙ホ又之ヲ法律ノ意味デ申シマシムルト、唯今ハ漁業料ト云フモノハ、從來カラ樺太廳ノ漁業令ノ中ニ此漁業料ガ含マレテ居リマシテ、之ヲ取ルコトニナラセ居タノデアリマス、所ガ此漁業令ハ大正十一年ノ四月ヨリ廢止シタノデアリマス、併ナガラ此漁業料ハ當分ノ間漁業料トシテ課スルコトヲ得ルト云フコトニナラセ居リマシテ、今日モ取テ居リマシマスガ、要スルニ當分ノ中ト云フハ、此漁業税ガ通過シタ場合ニハ廢スルト云フ意味ニ於テ當分ノ中トナラセ居ルノデアリマス、漁業令ヲ廢シマシムル結果トシテ、漁業料ト云フモノハ取レナクナルノデアリマス、是非共是ハ漁業税ト云フモノヲ新タニ起サナケレバナラヌコトニ相成ル次第デアリマス、斯ウ云フ譯デゴザイマシテ、漁業料ヲ漁業税ニ改正イタシタイ次第デゴザイマス、而シテ此改正ノ機會ニ於キマシテ、唯今漁業料トシテ取テ居リマシタノハ生産額ニ對シテ千分ノ七十ヲ取テ居リマシマス、之ヲ漁業税ト致シマシムルニ付テハ收入金額ノ中ノ千分ノ七十ヲ、千分ノ五十二直シマシムルノデアリマス、尙ホ千分ノ五十二直スト同時ニ一ツノ漁業權ニ付テ尙ホ百圓ヲ徴收スル、一方ニ於テ定額ヲ定メルト共ニ收入金額ニ依テ取ル、詰リ此二種ニ依テ此稅ヲ徴收イタシタイノデアリマス、即チ以前マデハ千分ノ七十デアッタノヲ千分ノ五十二直シマシタノハ、幾ラカ定額ヲ安クスル、此漁業料ノ幾ラカ負擔ヲ輕減シタイト云フ考ヘデアリマス、尙ホ此國稅ニ對シマシテ町村稅ヲ賦課スルヤ否ヤト云フ議論モアリマシタガ、千分ノ五十二直スト云フコトニシマシテモ、幾ラカ安スクハ致シマシタケレドモ、マダ實際ノ漁業狀態カラ考ヘマシムルト、ドウモ千分ノ五十二直シマシテモ、漁業税トシマシテハ決シテ安イト云フマデニハ行キマセヌノデアリマス、種ニナル點ヲ考慮イタシマシテ千分ノ五十デアラデモ相當ノ稅ニ上リマセヌ、是ハ町村ノ附加稅ヲ課セナイ方ガ宜イト云フノデアリマス、附加稅ハ課セナイ方針ニナラセ居リマス、マダ是ハ內議デアリマスガ大體課セナイ見込ヲ以テ出來テ居ルノデアリマス、大體右様申上ゲタヤウナ次第デゴザイマシテ、極メテ簡單ナ法律デゴザイマス、尙ホ此鹽專賣ニ付テ申上ゲタイト考ヘマス、鹽專賣ノ制度ヲ設ケタイト考ヘマス、鹽專賣ヲ設ケマシムルニ付テハ内地ノ鹽專賣法ヲ其儘施行イタシタイト云フノガ此法案ノ目的ノデアリマス、其理由ハ極メテ簡單デゴザイマシテ、元來樺太ニ於キマシテ鹽ハ今日マデ

無論自由販賣ニナラセ居タノデアリマス、自由販賣デアリマスルガ、誠ニ需要供給ノ關係ガ圓滑ニ行ハレヌノデアリマス、從テ價格ノ高低モ定マラナイノデアリマス、ト云フノハ需要供給ノ關係ガ圓滑ニ行ハレナイノハ樺太ノ事情ニ於テハ無理ガ無いノデアリマス、ト云フノハ樺太ニ於テモ鹽ハ多額ニ使用シテ居リマス、漁業ニ使フ鹽デアリマス、所ガ此漁業ト云フモノハ年ニ依リマシテ豊凶ガアリマス、不漁ノ時ニナラマシト鹽ノ賣行ガ非常ニ惡クナリマシテ、供給過多トナラシムルニ一面此豐漁ニナリマシムルト供給ノ不足ヲ告ゲマシムルニ一面此豐漁ニナリマシムルト供給ノ不足ヲ告ゲマシムルニ於テ品ノ拂底ヲ告ゲルノデアリマス、サウシマシムルト漁業ノ製造ニ付テ非常ニ不完備トナリマス、鮭鱒ノヤウナ貴重ノ魚類モ肥料ニ製造シナケレバナラヌト云フコトニナリ、漁業者ノ不便ガ少クナイノデアリマス、從ヒマシテ日常家庭ニ用ヒマス鹽ニ於テモ此影響ヲ受ケマシテ、價格ガ常ニ動搖スルノミナラズ時ニハ非常ニ高價ナモノヲ用ヒナケレバナラヌコトニナリマシテ、鹽ノヤウナ安イモノモ非常ニ高價ヲ用ヒルコトニナラシメ、其不便不利名狀スベカラザル有様デゴザイマス、斯様ナ狀況ヲ救済イタシマシムル事柄ハ、民間ノ當業者ニ於テハ到底不可能デ出來ナイノデアリマス、寧ロ民間當業者ハ其業ノ機會ヲ作リ其機會ヲ利用シテ其弊害ヲ助長スルノ傾ガアルノデアリマス、詰リ此機會ニ於テ暴利暴益ヲ貪ル傾ガ起リマシムルノデアリマス、當業者ニ於テハ到底救済ガ出來ナイト云フ狀況デアリマス、デアリマスカラ政府ノ力デナケレバ、到底此當業者ノ満足ト云フコトハ出來ナイト考ヘルノデアリマス、ソレデ樺太廳ガ此鹽專賣法ヲ施行致シタイ譯デアリマス、尙ホ一言申上ゲテ置キタイノハ、此專賣法ハ多クノ場合ニ於テ政府ノ財政ニ收入ヲ得ルト云フコトガ目的デ、詰リ財政ノ一端ヲ補助スルコト云フ目的ガ多クノ場合デアリマス、樺太ニ鹽專賣ヲ設ケマシムル理由ハ、全ク收入ヲ得ル目的デハナイノデアリマス、唯今申上ゲタ供給ヲ確實ニスルコト、價格ヲ低廉ニ致シテ樺太ニ於キマシムル生産業者ノ便利ヲ圖リ、向上ヲ圖リテ行キマシムルコト並ニ住民ノ生活上ノ不便ヲ救済イタシタイト云フ考デアリマス、要スルニ社會政策上ノ意味ヲ持チマシテ此鹽專賣法ヲ施行イタシタイ考デアリマス、大體右申上ゲタヤウナ次第デアリマス、尙ホ其內容ニ付テ聊カ申上ゲテ置キタイト考ヘルノデアリマス、樺太ニ於ケル鹽專賣ニ於テハ別ニ樺太區域内ニ於テハ製作ハ致シテ居リマセヌノ

デアリマス、製作イタシテ居リマセヌカラ之ヲ他ノ方面ヨリ移入
 イタシマスノデアリマス、移入ヲ以テ致シマスカラ製作收納ト
 云フモノハ素ヨリナイノデアリマス、全ク他ノ領域ヨリ移入
 致シテ之ヲ販賣スルト云フ考デアリマス、主ニ是ハ關東廳カ
 ラ買入レル考デアリマス、關東廳カラ買入レルノデアリマス
 ガ、樺太廳デソレナラバドノ位鹽ハ需要ガアルカト云フコト
 フ申シマス、是ハ八年ニ依リマシテ大分違ヒマスガ、先ヅ千
 三百万斤以上、二千万斤内外位ナモノデアラウト考ヘマス
 ノデアリマス、場合ニ依リマシテ二千五百万斤位ニ上ルト云
 フコトモアリマスガ、大體二千万斤位ヲ用意イタシテ居リマ
 シタナラバ、樺太ノ需要ヲ充タスコト出ル、供給ヲ確實
 ニスルコト出ルヤウト考ヘマス、先ヅ二千万斤用意イタシ
 テ之ヲ賣ルト云フ計畫ヲ以テ居リマス、サウシテ此豫算ハ百
 斤一圓五十錢デアリマシテ之ヲ二圓五十錢ニ賣ル計畫デ
 アリマス、其豫算ハ三十九萬圓ノ豫算ヲ計上致シテ居リマ
 スガ、併ナガラ之ヲ賣リマシタ結果ハ收入ハ五十萬圓ト見
 テ居リマス、差引十萬圓ノ利益ヲ得ル計算ニナリマスガ、コ
 レハ收入ヲ目的デアリマセヌガ、色々ノ計算ヲ致シマスル
 ト十萬圓許リノ利益ニナル計算ニナリマス、併ナガラ多少
 色々ノ準備費其他ノ關係モアリマセウシ、又鹽ノ値段ノ高
 低モアリマセウカラ、其邊位宜カラウト思ヒマス、收入ヲ得
 ル目的デアリマセヌガ、若干餘裕ヲ見マシタ考デアリマス
 ス、ソレカラ此鹽ノ性質ニ於キマシテ漁業ニ於テ重大ナル關
 係ヲ有テ居リマス、鹽ノ良否ニ因リマシテ魚ノ品質ニ重大ナル
 關係ヲ有テ居リマスノデ、成ルベク良イ鹽ヲ用ヒタイト考ヘ
 マスケレドモ、一面價格ノ問題ヲ考ヘマスノデ、關東廳ニ於
 ケル粉碎洗滌鹽ヲ用ヒマス、是等ノ鹽ヲ樺太廳デ之ヲ買ヒ
 マシテ、更ニ元賣捌人ニ渡シテ更ニ小賣商人ニ渡シテ需要
 者ニ渡ス、斯ウチフ計畫ニナラシテ居ルノデアリマス、大體右様
 ノ次第デ設ケマシタノデアリマスガ、唯、一言此法律上ノ法
 文ニ付マシテ一言申上ゲテ置キタイノハ、此鹽專賣法ハ大
 正十二年四月一日ヨリ之ヲ施行スルノデアリマスガ、此附
 則ノ中ニ本法施行ノ際現ニ鹽ノ消費者及販賣者ノ所有
 シ又ハ所持スル鹽ニ關シテハ本法ヲ適用セスト云フ條文
 ガアリマスガ、要シマスルニ此ノ本法施行ノ際鹽ヲ持テ居
 リマス者ニ對シテハ、本法ヲ適用シナイト云フ取除規定ヲ設
 ケタノデアリマス、是ハ如何ナル理由デアアルカト申シマス、
 要シマスルニ現ニ有テ居リマスル者ガ高ク賣ルト云フコト
 ニナレバ、樺太廳ヨリモ高ク賣ルト云フコトハナイ、必ズ樺
 太廳ト同一ニ賣ルヤウナ結果ニナリマスカラ、高ク賣ルト云
 フコトハナイ、安ク賣ルト云フコトノ心配デアリマスガ、元來
 樺太廳デハ鹽ヲ廉價ニ供給スルト云フノ目的デアリマス
 カラ、若シ當業者ガ安ク賣リマシテモ樺太廳ハ關係ハアリマ

セヌカラ、安ク賣ルデモ差支ナイ、高ク賣ルノデナイ、安ク賣ル
 心配デアリマスカラ寧ろ本法ヲ適用シナクテモ宜イ、併ナガ
 ラ此關係ハイツ迄モ持續サレマシテハ、樺太廳ノ鹽專賣計
 畫ニ齟齬ヲ來ス心配ガアリマスノデ、本法施行ノ際現ニ所
 有シテ居ル者ニ限ルト云フコトデアリマスカラ、極ク一時的
 ノ關係ニアルノデアリマス、從テ其次ノ附則ニ於キマシテ相
 當ノ罰則ヲ設ケテ、現ニ所有シテ居ルト云フ事柄ヲ明確ニ
 スル爲ニ、相當ノ罰則ヲ附シテ次第デアリマス、斯様ニ致シ
 テ置キマシタナラバ、當業者ニ於キマシテ現ニ持テ居ル當業
 者ニ於テモ不便ナコトガナク、不測ノ損害ヲ與ヘルコトハナ
 ク、此法律ハ圓滿ニ施行スルコト出ルルト云フ積リデアリ
 マス、大體ノ點ハ右様ノ次第デアリマスカラ、何卒御審議ノ
 上御協賛ヲ與ヘラレムコトヲ希望致シマス

○委員長(子爵渡邊千冬君) 御質問アリマセヌカ、御質
 問ガアリマスナラバ……

○菅原通敬君 此兩案一緒ニ御審議ニナリマスガ、別々
 ニ御分ケニナリマスカ

○委員長(渡邊千冬君) 別々ニ四十年法律第二十一號
 中改正法律案ト云フ方カラ先ニ致シタイト思ヒテ居リマス
 ガ、若シ御質問ガ澤山ナケレバ一緒ニ致シテモ宜シイデスガ、
 菅原君ノハドテラデアリマスカ

○菅原通敬君 イヤ兩方アリマス

○委員長(子爵渡邊千冬君) ソレデハ私ハ先刻別々ト云
 フコトヲ申シテ置キマシタガ、此方ガ簡單ナ法案デアリマス
 カラ……

○菅原通敬君 別々デモ宜シウゴザイマス

○委員長(子爵渡邊千冬君) ソレデ差支ナケレバ、ソレデ
 ハ四十年ノ方カラ願ヒマス

○菅原通敬君 是ハ現行ノ漁業料ヲ漁業稅ニ改メルト云
 フ法案デアリマスルガ、今既ニ御説明ガアリマシタカモ知レマ
 セヌガ、若シ御説明濟ミデアラバ、後トカラ速記録デ拜
 見致シマスガ、若シ御説明未濟デアラバ、後トカラ速記録デ拜
 キタイト思フノハ、此現行ノ漁業料ノ徵收法ハドウ云フ風
 ニナラシテ居リマスガ、又將來之ガ漁業稅ト云フコトニナリマシ
 タ場合ニ於テモ、其賦課徵收ノ方法ハドウ云フ風ニ御取扱
 ヒニナルノデアリマスカ、ソコラ大體伺テ置キタイ

○政府委員(永井金次郎君) 稅率ノコトハ只今申上マシ
 タヤウニ、漁業料デハ千分ノ七十ト云フコトニナラシテ居リマス、
 ソレヲ千分ノ五十二直シマス、ソレト同時ニ千分ノ五十二直
 シマスガ、併ナガラ一ツノ網ニ對シテ定額トシテ百圓ヲ徵收
 スル、其外二千分ノ五十……二十ダケ安ク致シテ居ル次第デ
 アリマス、ソレカラ賦課徵收ニ於キマシテハ、細カイ規定ガゴ
 ザイマスガ、大體此生産額千分ノ五十八ドウスルカト申シマ

スト、生産額ニ於テ三箇年ヲ平均致シマシテ、三箇年ヲ平
 均シタ生産額ノ千分ノ五十ト、千分ノ二十ダケ下ゲマシ
 テ、各漁場ニ四月五日、……毎年四月初メニ於ケル免許漁
 業者ニ賦課スル積リデアリマス、其網ノ免許……其後許シ
 マスル漁業者ニ付テハ、隨時之ヲ賦課シテ居ルト云フコトニ
 ナラシテ居リマス

○菅原通敬君 コレデ免許料トカ何トカラ云フモノハ、モ
 ウ全ク無クナルコトニナルノデアリマスカ

○政府委員(永井金次郎君) 御説ノ通り全ク無クナリマ
 ス、元來此沿革ヲ此機會ニ申上マスト、以前ハ此漁業料ハ
 漁業ノ許シマス際ニハ入札デ許シタノデアリマス、御承知ノ
 通り占領當時ニ於テハ、漁業權ヲ附與シマスニハ入札ニ依
 テ附與シタノデアリマスガ、今日デハ漁場モ少クナリマシタ
 シ、又入札ノ方法デ許ス程ノコトモアルマイト思ヒマシテ、隨
 分早イ時分ニ入札ヲ撤廢セラレマシテ、全ク免許ニ依テ許
 シテアツタ次第デアリマス、隨テ是ハ免許料ト云フモノハアリ
 マセヌ

○菅原通敬君 今大體伺ヒマシタガ、此場合樺太ニ於ケ
 ル漁制ノコトデアリマス、例ヘバ所謂漁業制度ト申シマスガ、
 度々變遷シテ近來ニモ亦變テ居ルヤウデアリマスガ、其處
 ノ現狀ハドウ云フコトニナラシテ居リマスガ、御説明ヲ願テ置
 イタラ大變參考ニナラウト思ヒマス

○政府委員(永井金次郎君) 此漁業ノ制度ニ付マシテ申
 上マスガ、要シマスニ此樺太ノ漁業ト云フ問題ハ、隨分一時
 喧マシイ問題デアツタノデアリマス、喧マシイ問題デアツタノデ
 アリマスガ、此喧マシイ問題ト云フノハ、樺太ノ以前ニ於キマ
 シテハ、堅網漁ト云フモノニ依テ、此樺太ノ漁業ヲ營ンデ居
 タノデアリマス、鰈ト云ヒ、鰈ト云ヒ、總テ堅網漁デ入札ニ依
 テ漁業者ニ許シ、サウシテ又堅網漁ニ依テ許シテ居タノデ
 アリマス、所謂一網制ト稱シテ居リマシテ、堅網漁者ニ漁業
 ガ許可サレテ居タノデアリマスガ、所ガ段々樺太ノ拓植ガ發
 展スルヤウニナリマシテ、樺太沿岸ニモ相當ノ漁業者ガ殖エ
 ルト云フヤウナコトニナリマシタノデ、所謂地方住民ガ、沿岸
 ニ住居スル者ガ殖エマシテ、ソレ等ノ者ガドウシテモ漁業ニ依
 ナケレバ、生活ガ出來ナイト云フヤウナ狀況ニナラシテ來タノデ
 アリマス、ソコデ所謂雜漁業ト稱シマシテ、或ハ鰈デアアルカ、
 或ハ其他ノモノヲ獲テ相當營業シテ居タ、詰リ立網以外
 ニ鰈、鰈ノ以外ノ漁業ヲ以テヤウテ居リマシタノデスガ、ソレ
 デハ住民ハ生活ガ十分ニナリマセヌノデ、雜漁業ト云フ者
 ハ、ドシテモ普通ノ雜業ヲ以テシテハ、生活ガ出來ナイ、サウシ
 テ雜漁者ト立網業者トノ間ニ紛擾ガ起ツタノデアリマス、是
 ハ多年ニ亘リ紛擾デアリマス、ドウシテモ雜漁業モ立網ト
 同ジニ相當ノ網ヲ以テ鰈鰈鰈モ獲リタイ、是ハ非常ナ樺太

ノ漁業問題ヲ悩マシマシテ問題アリマシテ、其後イロイロ考ヘマシテ、ドウシテモ以前ノ入札ニ依テ得タルノ立網業者ノ權利ヲ毀損スルト云フ譯ニモ行キマセヌシ、サウカト云フテ現在拓殖ノ上ニ貢獻シテ居ル所ノ地方住民ヲ考ヘナイ譯ニモ行カズ、是ヲ兩々相俟テ、即チ立網業者モ亦地方住民モ相當漁業ガ出來テ生活安定ガ出來ルヤウニト云フヤウナ、所謂調和ノ方法ヲ見出サナケレバナラヌト云フ關係ニナリマシテ、ソレデイロイロ研究ノ結果雜漁業者ニハ專用漁業場ト云フモノヲ付與シタノデアリマス、付與スルト云フコトニ致シマシテ、專用漁場内ニ於キマシテハ、立網モスルコトガ出來、鯉、鮭、鱒モ獲ルコトガ出來ルト云フコトニ致シマシタノデアリマス、ソレデ從來ノ雜漁業者ナル者モ專用漁場内ニ於キマシテハ十分ニ立網漁業者ト同様ニ鯉、鮭、鱒ヲ獲ルコトモ出來ルヤウニナリ、サウ云フ關係デアリマス、以前ニハ漁業料ガアリマシタリ、イロイロナモノガアリマシタガ、今日デハ總テ此漁業法ヲ適用イタシマシテ、今日デハ立網業者モ雜漁業者モ同様ニ、相當ニ漁業ヲ營ムコトガ出來ルヤウナ制度ニナリ、ノデアリマス、換言スレバ雜漁業者モ立網業者モ十分漁業ヲ爲スコトガ出來ル、尙ホ雜漁業者ニ專用漁場ヲ許可イタシマシテモ、一時ハ其數ヲ限リテ許可シマシタノデスガ、ソレモ數ガ不足ダトカ、餘計ダトカ云フイロ、議論モアツタノデアリマシタガ、追々雜漁業者ノ利便ヲ圖リマシタメニ、其數モ殖ヤシマシテ、專用漁場内ニ於ケル其漁具ノ方ニモ相當制限ガアリマシタノヲ其制限ヲ撤廢イタシマシテ、今日デハ雜漁業者モ十分安全ニ漁業ガ出來ルヤウニナリ、次第デアリマス、要スルノ二樺太漁業ノ紛擾ハ全ク圓滿ニ解決ガ行ハレマシテ、幸ニ雜漁業者ト立網業者ノ紛擾ト云フモノモ治テ、今日ハ極ク平穩無事ニ漁業ニ從事スルコトガ出來ルヤウナ制度ニナリ、テ居リマス

○菅原通敬君 大變能ク御説明ヲ願フテ略ボ分リマシタガ餘リ迂濶ナ御尋ヲスルヤウデアリマスガ、ソレハ矢張今日デモ入札ニ依テ許可ヲ受ケルコトニナリテ居リマスガ

○政府委員(永井金次郎君) 現今デハモウ其制度ハアリマセヌ

○菅原通敬君 ナイノデスカ

○政府委員(永井金次郎君) 許可ヲ致シマスノデスゲレドモ入札ニハ致シテ居リマセヌ、ソレカラ新規免許ハ餘程相當ノ理由ガナイト與ヘナイヤウニナリテ居リマス、詰リ投票命令、公益上一ノ漁業場ヲ設ケマシタモノヲ若シ其處デ漁業場ガ出來ナイカラ官ニ於テ放棄サセテ場合ニ、官ノ都合ニ依テ更ニ新シイ漁場ヲ許スコトニナリテ居リマス

○菅原通敬君 サウスルト其立網業者ハ至ル所自分ノ望

ム場所ニ於テ網ヲ立テルコトガ出來ルコトニナリテ居リマスカ、場所ヲ指定サレルカ、或ハ限定サレルト云フヤウナコトハナイノデスカ

○政府委員(永井金次郎君) 既に許シタ場所ハサウデナイ、既に許可ヲ致シマシタ場所ハ一定ノ場所ニ、何間以内ト云フコトニ法律ノ保護ヲ與ヘタ區域内ニ於テ出來ルコトニナリテ居リマス

○菅原通敬君 ソレカラ專用漁場ノ方ハ矢張其場所ヲ專用スルニ付テハ何等カノ免許法トカ許可法トカ要ルノデスカ、要リサウニ思ヒマスガ、ソレハ何モ要ラヌノデスカ

○政府委員(永井金次郎君) 唯今ノ所何モ取りマセヌノデアリマス

○菅原通敬君 イヤ分リマシタ、モウ一ツ伺ヒマス、漁業料デアタモノヲ漁業税ニ引直サレルニ付テ、其料率ヲ輕減サレタト云フ御話デアリマシタガ、ソレハドウ云フヤウナ御趣意カラ御減シニナリテデアリマス、隨分樺太ニハ財源デモ餘リ豊デアラレヌノデアリマス、現在ヤツテ居ルモノハ其儘御取リニナリテモ宜カリサウニ思ヒマスガ、増稅デモセラル、ト云フナラバ格別デアアルガ

○政府委員(永井金次郎君) 唯今ノ御問ニ御答イタシマスガ、元來此樺太ノ漁業料ト云フモノハ、入札ノ制度ニ依ツタ、當時非常ニ高イ稅ヲ取ツテ居ツタ、ソレガ段々因襲トナリテ居リマシタメニ、漁業料ハ非常ニ高イノデアリマス、ソレデ之ヲ漁業税ニ直シマスル上ニ於キマシテハ、他ノ稅トノ關係モ考ヘナケレバナラヌ、例ヘバ營業稅デアルトカ云フヤウナ點モ考ヘテ行カナケレバナラヌノデアリマス、ソレデ他ノ營業稅ト比較イタシマス、是デモ少シ高イヤウナ感ジモ致シマス、ソレデ他ノ稅ト比較イタシマシテ、漁業ト致シマシテハ十分ノ五十位ノ所ガ先ツ適當デアラウト云フ考デアリマス、尙ホ此漁業料トナリテ居ツタ時分ニハイロ、沿革ガアリマシテ漁業ノ用地ノヤウナモノ、使用料ノヤウナモノモ含ンデ居リマシタリ、或ハ其他イロ、ナ點モ含ンデ居ツタノデアリマス、山林ヲ伐採スルヤウナコトモ出來タ爲ニ、ソレ等ノコトヲ重ク見テ居ツタ云フヤウナコトモアツタノデアリマス、ソレ等ノ點ヲ皆含ンデ漁業料ノモノヲ定メテデアリマス、自由モナクナリ、ソレ等ノ關係上漁業料ト云フ點ヲ直シマシタ點ニ於キマシテハ、是等ノ點ヲ參酌イタシマシテ、要スルニ此營業稅其他ノ關係モ斟酌イタシマシテ、此邊ガ適當デアラウト云フデアリマシテ、ソレデ多少輕減シタイト云フ關係ニ於テ定メテ次第デアリマス

○委員長(子爵渡邊千冬君) 別ニ御質問ガナケレバ、鹽專賣業ノ方ノ質問ニ移リタイト思ヒマス

○菅原通敬君 樺太ニ鹽ノ專賣ヲ御施行ニナルト云フ御計畫ハ、御趣意トシテ至極結構ダト思ヒマス、既に疾クニ鹽ノ專賣ヲ御施行ニナリテ、鹽供給ノ圓滑ヲ圖ラレル必要ガアツタラウト思フ程デアリマス、今日此御計畫ニナリマシタコトハ大變宜イコト、思ヒマスガ、先刻御説明ニ依リマスト云フト收入ハ目的トシテ居ラナイ、ソレモ至極御尤モデアルト思ヒマスガ、其豫算上ノ關係ニ付テノ御説明ニ依ルト支出三十九萬圓、收入二十五萬圓ト云フコトニナリマス、云フト、十萬圓バカリノ利益ヲ生ゼラレルヤウナ御計算ニナリテ居ルヤウデアリマスガ、其二十九萬圓ト云フ豫算ノ中ニハ、或ハ經常ノ支出モ、臨時ノ支出モ含マレテ居ルモノデナイカト思ヒマスガ、若シ經常ノ支出ダケニ對シテ見マスナラバ、其十萬圓ト云フ利益歩合ト云フモノハ相當多額ニナリテ居ルヤウニ見エマスガ、二割五分ナリ三割位ノ相當ナ利益ガ上リテ居ルト云フコトデアルト云フト、全ク利益ハ眼中ニナイノデアルト云フコトヲ御説明ニナルコトモ少シ御矛盾ガアルノデアリカト思ヒマスガ、樺太ノ漁業用ノ鹽ヲ供給スルト云フコトモ是ハ勿論必要デアリマセウシ、同時ニ又樺太ニ於ケル住民ノ安價ナル鹽ノ供給ヲ受ケルヤウニシヤウト云フコトモ是モ必要デアラウガ、同時ニ樺太廳ニ於ケル財政ト云フコトモ亦考ヘナケレバナラヌノデアリマス、矢張鹽專賣ト云フモノハ一ツノ鹽政策ト云フコト、同時ニ、財政策ヲモ加味シテ居ルモノデアルト云フコトニ表向キ標榜セラレテ、鹽專賣ニ於テノ若干ノ利益ヲ得ルト云フコトヲ目的トサレタガ、寧ろ宜イノデアリカト考ヘルノデアリマスガ、或ハソレ等ニ付テハ御考究ノ結果デアラウト思ヒマス、ドウ云フヤウニ其邊ヲ御考ニナリテデアリマス

○政府委員(永井金次郎君) 唯今菅原君ノ御問ハ御尤モナコトデアリマシテ、説明ヲ致シマシテハ多少矛盾ヲ致シテ居ルヤウナ觀ガアリマスガ、併ナガラ是ハ本年度ノ始メテノ試ミデゴザイマス、又明年ニ行キマシテモ相當ノ準備費モ要リマス、相當ノ臨時費モ要リマス次第デアリマス、臨時費經常合セマシテ樺太廳ニ於テ此事業ヲヤリマス上ニ於テモ損ハシタクナイ、少クとも儲ケル必要ハナイガ、少クとも損ハシタクナイト云フ考ヨリ致シタ譯デアリマス、將來ニ於キマシテ非常ニ順境ニ參リマシテ、或ハ財政ノ方ニ、收入ノ財政上ノ缺陷ヲ補フヤウニナリマスレバ結構デアリマス、成ベク確實ト安價ト云フコトヲ目的ト致シマス、先ヅ當分ニ、當分ト云フ意味ハ近キ將來ニ於キマシテハ收入ハ目的ト致サヌ積リデアリマス、尙ホ明年年度ヲ豫想イタシマス、ト臨時費ニ於キマシテモ相當ノ費用ガ掛ルヤウデアリマス、倉庫ノ擴張其他モ致サナケレバナリマセヌシ、旁々臨時經常合セマスト相當ノ金方要リマス、尙ホ又樺太廳トシマ

シテ鹽專賣ニ直接關係イタシテ居リマス人ノ支出モ見テ居
リマスケレドモ、或ハ樺太廳本來ノ役人ニ於キマシテモ相當
ニ此爲ニ往復旅費、其他ノ費用モ掛ルコトモゴザイマセウ
シ、旁々此爲ニ損害ハ致シタクナイト云フヤウナコトデ、若干
ノ見積リヲ見テ居ルノデアリマス、初メテノ試ミ、デアリマス
カ、一圓五十錢ト云フコトガ時ノ相場ニヨリマシテドウ云フ
結果ニナリマスカ知レマセシ、旁々大事ヲ取リマシテ此事
業ヲ始メタガ爲ニ、樺太廳ノ財政ニ缺陷ガ生ジマシテハ甚ダ
遺憾デアリマスカラ、大事ヲ取リマシテ、明年度ハ十萬圓ノ
收入過ニナリマスケレドモ、明後年度ニ於キマシテハサウ云
フ譯ニ參ラヌヤウナ計算ニナルヤウニ考ヘマス、要シマスルニ
大事ヲ取リマシテ爲ニ多少收入過ニナリマシテ次第デアリ
マス、右様ニ御承知ヲ願ヒタイ、殊ニ初メテノ試ミ、デアリマ
スカ、色々臨時其他ニ於テモ多少ノ意想外ノ費用モ掛ルヤウ
ナコトガナイトモ限リマセヌ、諸般ノ考慮ヲ致シタ上ノ左様
ナ計算ト御承知ヲ願ヒタイ

○菅原通敬君 三十九萬圓ト云フ中ニハ矢張臨時費ガ
這入テ居リマスノデスカ、經常ダケデスカ

○政府委員(永井金次郎君) 御答イタシマスガ、明年度ニ
ハ這入テ居リマセヌサウデス、三十九萬圓ニハ……

○菅原通敬君 其外ニ臨時費ガアルノデスカ

○政府委員(永井金次郎君) 其外ニ一萬五六千圓這
入テ居リマス

○菅原通敬君 鹽專賣ヲ行ハレルニ付テ、或ハ元賣捌人
アルトカ、小賣デアルトカ、各種ノ販賣機關ト云フモノガ造
ラレナケレバナラヌト思ヒマスガ、ソレ等ハドウ云フ風ニナサ
ルカト云フコト、現在樺太ニ對スル鹽ノ供給販賣ノ機關
ト云フモノハ、機關ト云フト語弊ガアルカモ知レマセヌガ、取
引ノ狀態ト云フモノガドウ云フ風ニナラヌテ居リマスガ、ソレヲ
一ツ伺ヒタイト思ヒマス

○政府委員(永井金次郎君) 現在ニ於キマシテハ賣捌人
ガアリマシテ、内地ノ專賣局ヨリ買入レマシテ、サウシテ其モ
ノヲ小賣商人ニ渡シ、或ハ需要者ニ直接渡スト云フ點ガ一
ツアリマス、今一ツハ立網業者ガ自カラ漁業ノ爲ニ專賣局
ヨリ買入レマシテ、サウシテ直テニ漁業ニ使用スト云フヤウ
ナコトニナリマシテ、需要者直接ニ專賣局カラ買テ居ルモノ
ト、元賣捌人ノ手ヲ經テ買ヒマスノデアリマス、併シ今度此
專賣法ヲ施行イタシマスニ付マシテモ、大體元賣捌人ノヤウ
ナモノヲ設ケタイト考ヘテ居リマス、ソレハ現在元賣捌人ノヤ
ウテ居リマス、當業者ノ適當ナ者ヲ選ビマシテ、元賣捌人ニ指
名シタイ、サウシテ小賣商人ナリ、需要者ニ販賣ヲ致シタイ
ト云フ計畫デゴザイマス

○菅原通敬君 應ニ矢張專賣局トカ云フモノヲ置カレ
ル

御積リデゴザイマスカ
○政府委員(永井金次郎君) 御問ノ通りデゴザイマシテ、
矢張專賣局所ト云フモノヲ設ケマシテ事務官ヲ以テ所長ニ充
テマス、其他若干ノ吏員ヲ配置スル積リデアリマス、其外ニ各
支所ヲ置キマシテ、各支廳所在地ニ此支所ヲ設ケル積リデ
アリマス

○菅原通敬君 元賣捌人ト云フモノハ幾人位、矢張地方
ニ分割シテ置カレルコトニナリマスガ、或ハ中央ニ一箇所ト
云フヤウナコトニナリマスガ

○政府委員(永井金次郎君) 唯今御尋ノ點ハマダ確定
イタシテ居リマセヌガ、見込ミト致シマシテハ重要ナ場所ニ
元賣捌ヲ置キタイト考ヘテ居リマス、固ヨリ支廳所在地位
ノ所ニ一人若クハ數人置キヤウナコトニシテラドウカト思ヒ
マス、此點ハ一箇所ニ置キマシテ致シテ方ガ都合ガ宜イカ、
數箇所ニ置キマシテ方ガ都合ガ宜イカト云フコトハ多少研
究ノ餘地ガアルヤウデアリマスガ、何レモ少シ研究イタシ
マシテ、一箇所ニシマスガ、或ハ數箇所ニスルカト云フコトヲ
極メタイト考ヘテ居リマス

○委員長(子爵渡邊千冬君) 此際御諮リヲ致シタイト思
ヒマスガ、大河内子爵ガ鹽專賣ノコトデ委員デハナイノデス
ガ、質問ヲ致シタイト云フ御希望ガアリマスガ、皆サン御異
議ガナケレバ許可イタシタイト考ヘマス

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○委員長(子爵渡邊千冬君) ソレデハ大河内子爵
○委員外議員(子爵大河内正敬君) 御許可ヲ得マシタ
カラ、テヨト伺ヒタイノデアリマス、私ハ元來日本デ大藏
省ガ鹽專賣法ヲ今日マデ施行セラレテ居ルト云フコトニ付
テハ甚ダ遺憾ニ思ヒテ居ル一人デゴザイマス、御承知ノ通り
專賣法ト云フモノ、根本ノ目的ハ何デアアルカト云フト、申ス
マデモナク是ハ收入ヲ目的トシタモノデナケレバナラナイト思
ヒマス、收入ヲ目的トシテ居ルガ爲ニ、是ハ一方ニ於テハ大
藏省ノ管轄ニモナラズテ居リマセウシ、同時ニ是ガ又價格ヲ相
當ニ維持スルト云フヤウナコトモ必要ニナラズテ來ルノデアリマ
ス、收入ヲ目的トシタモノ所ノ專賣法デアリマスナラバ、是ハ例
ヘバ煙草デアリマストカ、今度臺灣總督府ガ計畫サレマシタ
如キ酒デアリマストカ、一口ニ言ヒマスナラバ、是ハ我々ノ生
活ノ必需品デナクシテ、多少嗜好品デアリマストカ、贅澤品
デアルトカ云フヤウナモノニ專賣ヲ施行シテ、國家ガソレニ依
テ收入ヲ得ルト云フコトガ至當デアルト私ハ思フノデアリマ
ス、或ハ又佛蘭西デヤウテ居リマス如キ燐寸ノ專賣ノ如キ……
マア是ハ國民生活ニ直接關係ガゴザイマスルガ、併シ工業ノ
方カラ言ヒマスルト云フト、既ニソレハ生産品デアリマシテ原
料デハナイノデアリマス、然ニ日本ガ鹽專賣ヲヤリマシタ當

時ハ、鹽專賣ニ依テ勿論收入ヲ得ルト云フノデアリマシテ、
初メハタシカ數百萬圓ノ此爲ニ收入ガアツタカト心得マスル
ガ、其後段々外國鹽ノ壓迫其他ニ依リマシテ、今日デハ殆
ド鹽專賣ニ依テ收入ヲ得テ居ラナイノデアリマス、當局ニ伺
ヒマスルト云フト、或場合ニ於テハ、極ク嚴格ナ計算スルナ
ラバ鹽專賣ニ依テ幾ラカ損失スルト云フヤウナ今日ハ狀
況デアアルト云フコトデアリマス、サウダト云フヤウナ今日ハ狀
況ノ如キ化學工業ノ基礎ナルモノニ對シテ、何故國家ガ
專賣ヲ維持シテ居ラナケレバナラナイカ、今日其理由トシテ
ハ供給ノ圓滑ヲ圖リ、且鹽價ノ騰貴ヲ防グノデアルト云フ
御答辯デアリマスルガ、サウスルト九テ是ハ大藏省ノ所管外
ノコトヲシテ居ルコトト私ハ存ジマス、産業ノ發展ノ爲ニ
鹽專賣ノ必要ガアルトシマスナラバ、是ハ當然産業政策ヲ
掌テ居ル所ノ農商務省ガ掌ラナケレバナラナイコトト思フ
ノデアリマス、併シ元々ガ收入ヲ目的トシタ爲デアリマスル
カラシテ、今日ハマア依然大藏省ノ所管ニナラズテ居リマス
ノデアリマスルガ、所管ハ何レデモ宜シウゴザイマス、苟モ此
工業ノ原料ニナルヤウナモノニ對シテ、國家ガ專賣ヲ施行ス
ルノハドウダラウカト云フ考ヲ始終持テ居ルノデアリマス、
殊ニ鹽專賣ガ施行セラレマシタ當時ハ、化學工業ガ十分ニ
發展シテ居リマセヌノデアリマス、鹽ト云フモノガソレ程重大ナ工業
上ノ使命ヲ持テ居ラナカッタノデアリマスガ、其後段々專賣
ガ施行セラレマシタ後ニナラズテ發達ヲシテ參リマシテ、今日デ
ハ總テノ化學工業ガ鹽ヲ原料トシテ、總テ出立ヲシテ居ルト
云フヤウナ次第デアリマス、其結果日本ノ鹽業ハドウナッタ
カト言ヒマスト專賣ガ施行セラレマシタ爲ニ日本ノ鹽業、殊
ニ十州ノ鹽田ノ如キハ全然生産能力惡クナッタ、生産能
率ガ惡クナルト云フヨリハ寧ろ昔ノ通りノヤリ方デアリマシ
テ、殆ド改良發展ト云フコトガ此專賣法ヲ施行セラレテカ
ラ認メラレテ居ラナイノデアリマス、ト云フノハ、一方ハ鹽專
賣ハ在來ノ鹽田ヲ保護スルト云フヤウナ意味モアリマシタ
シ、又其當時間及シテ居ラタ所ニ依リマスト云フト、是ハ國
防上ノ意味ガ含マレテ居ル、鹽ハ有事ノ日ニ於テ國民ガ一
日モ缺クベカラザルモノデアラカラ、之ヲ自給自足シナケレバ
ナラナイト云フノデアリマス、一方ニ於テハ國防上ノ意味モ含マレテ
居ルト云フコトヲ伺ヒタイノデアリマス、此問題モ今日ニナラ
ズテ國防上必要デアルト云フコトハ、是ハ國民ノ生存ノ問題
デアリマスルガ、不斷安イ鹽ガ使ハレナイカラ、化學工業ガ日
本内地ニ於テ起ラナイ、殊ニ鹽ヲ餘計使フノガ爆藥ノ工業、
火藥ノ工業デアリマスガ、ソレガドウシテモ日本内地ニハ起
リ得ナイト云フヤウナ狀況ニナラズテ居リマス、鹽ガ高イトカ、或
ハ鹽專賣ノ爲ニ色々ナ作業ノ上ニ障害ガゴザイマシテ、起ラ

ナイト云フコトニナテ居リマス、初メは國防上顧慮セラレ
タ問題デアアルニ拘ラズ、今日デハ却テ國防上非常ニ有害ナ
モノニナテ居ルト私ハ思フデアリマス、故ニ今日モウ日本
デ鹽專賣ヲ施行シテ居ルト云フコトハ、ドテラノ方面カラ見
マシテモ、即チ收入ノ方面カラ見マシテモ、全く無意味デア
リマスルシ、國防上ノ方カラ申シマシテモ勿論無意味デア
リマス、殊ニ今日國防デ言ヒマスナラバ、モウ朝鮮海峡ヲ日本
ノ海軍ガ保持シテ居ラナイカラニハ、獨リ鹽ノミナラズ、鐵ニ
シマシテモ或ハ石炭ニシマシテモ、總テノ軍需品ガ日本内地
デハ供給出來ナイノデアリマスカラ、決シテハ鹽ノミ限ラ
ナイ、殊ニ鹽ノ如キハ有事ノ日ニハ、生産費サヘ考ヘナケレバ
急ニ生産力ヲ増スコトモ敢テ不能デハナイノデアリマス、國
防上ニ於ケル意味モナクナテシマヒマスシ、今申シマス如ク
初メ收入ヲ目的トシマシタ所ノ其意味モ無クナリマスシ、又
鹽田ノ保護ト云フヤウナコトハ、全く其保護ガ所謂温室的
ノ保護ニナテシマシテ、鹽業者ハ從來ノ方法サヘ固執シテ居
レバ相當ノ收入ガ得ラル、ト云フヤウナ状態ニナテ居リマ
スカラ、殆ド鹽業上ニ於テ進歩發展ノ餘地ガ無シ、此進歩
發展ノ餘地ガ無シト云フコトハ、専門家ノ鹽田視察ニ依テ
著々トシテ報告セラレ、證明セラレテ居ル事柄ナノデアリマ
ス、ソレカラ前ノ管轄上ノ問題カラ言ヒマシテモ、大藏省ト
農商務省ト：殆ド大藏省ニ於テ所管トスベキ性質ノモノデ
ナイ、ドノ方面カラ言ヒマシテモ、專賣法ハ今日私ハ行詰テ
居ルト思フデアリマス、唯在來ノ情性ト云ヒマスカ：等
ノ爲メニ數回私ガ貴族院ニ於テ當局ニ申述ベテモ未ダ其
目的ガ達セラレズ唯僅ニ鹽ノ供給ヲ圓滑ニスルト云フコト
ト、鹽價ヲ非常ニ引上ゲナイ、物價騰貴ノ際ニモ鹽價ヲ暴
騰サセナイト云フヤウナ、所謂社會政策上ノ意味ニ於テ之
ガ保持サレテ居ルノデアリマス、社會政策上ノ意味ニ於テ保
持セラレナラバ、是ハ他ノ方法ヲ講ジテ：專賣法以外ノ
他ノ方法ヲ講ジテ、農商務省ナリ或ハ其他ノ適當ナル産業
上或ハ社會政策上ニモ、直接關係アル官省ニ於テ所管
セラレケレバナラヌト私ハ思フデアリマス、サウ云フ工合ナ鹽
專賣法ガ今日樺太ニ於テ新ニ施行セラレルト云フヤウナコ
トハ如何ナモノデアリマスカ、私ハ之ニ對シテ非常ニ實ハ反
對ヲスル者デハゴザイマセズ、ト云フノハ既ニ日本内地ニ於
テ斯ウニ鹽專賣ガ施行セラレテ居ルノデアリマスルカラ、唯
樺太ダケノ鹽專賣ヲ不可ナリト申シテ殆ド意味ヲ爲シ
マセズガ、敢テ反對ヲスルノデゴザイマセズガ、又同時ニ當局
ノ御説明ニ依リマシテ決シテハ收入ヲ主トスルノデハナク
テ、主トシテ漁業鹽ノ供給圓滑ト云フコトデアリマスルカラ、
誠ニ此意味ニ於テハ御尤モナコト、思ヒマス、殊ニ樺太ノ
沿岸ニ於テハ或ハ鹽ノ生産ガ今日私能ク存ジマセズカ殆ド

ナイカト思ヒマスルシ、又アリマシタ所デ極ク僅デアリマセウ
カラ、樺太ノ鹽業ヲ此專賣法ノ爲ニ日本内地ノ鹽業ガ衰ヘ
タ衰ヘト言ヒマスカラ進歩シカナクタト言ヒマスカラ、鹽價保
護ノ爲ニ：鹽價保護ノ爲ニ害ヲ與ヘト云フヤウナコト
ガ樺太デハナイヤウニ思ヒマス、併シ今後鹽物ニモ富シテ居
ル所デアリマスカラ、或ハ樺太ノ如キ所デ以テ岩鹽其他ノ工
業ガ見出サレナイトモ限ラナイ、サウ云フヤウナ場合ニ又此
鹽專賣ヲ樺太ニ施行シテ居ルタ爲ニ或ハ十分ノ發展ヲシズ
ニ歸シテ任舞ハシナイカト云フヤウナ慎レヨイテ居ルノデア
リマス、若シ今日ノ價ヲ以テ、又今日ノ樺太ニ於ケル鹽ノ需
要ヲ以テハ收入トスルコトハ出來ナイガ、他日ハ或ハ是ガ收
入ノ一途ニナルカモ知レヌト云フヤウナコトデアリマスナラ
バ、是ハドモ私ハ樺太ニ於ケル化學工業ノ爲ニ甚ダ宜シク
ナイ法案ヲ實ハ考ヘルノデアリマス、其點ニ付マシテ能ク
當局ノ御説明ヲ伺ヒマシテ私ノ平素考ヘテ居リマスル點ニ
付テ安心ヲ與ヘテ下サイマシレバ、甚ダ仕合ト存ジマシテ敢
テ私ハ質問ヲ致シテ次第デアリマス

ニシテモ、ナカノ鹽代ト云フモノハ容易デナイト云フコトヲ
聞イテ居ル次第デアリマスルカラ、ドウシテモ此問題ハ救済
シナケレバナラヌ、之ヲ救済シマスルニハ當業者ニ任シテ於
キマシテハ、寧ロ斯ウニフ機會ヲ作り、若クハ斯ウニフ機會
ノ起ラムコトヲ希望スルヤウナ傾キデアリマス、サウシテ其間
ニ暴利暴益ヲ貪ルノコトヲ救済スル其能力ガナイノミナラズ、
寧ロ此弊害ヲ助長スルノ傾キガアルノデアリマス、寧ロ斯ウ
云フ機會ガ多クナテ、漁業者：從テ鹽專賣業者ハ其機
會ヲ捉ヘテ暴利暴益ヲ貪リ、漁業者ハソレニ甘シテソレニ
屈從シナケレバナラヌト云フヤウナ結果ニ陥ルノデゴザイマ
ス、併ナガラ販賣業者ハ始終困テ居ルカト云フト、是亦土
地ニ依リマシテ非常ニ不漁デアリ、仕入レテ居ルモノガ賣レ
ナクナル場合ニハ、多少値段ガ下ガルコトモデアリマス、併ナガ
ラ此損ノ行クト云フ場合ヲ承ル場合ハ、少ウゴザイマシテ、寧
ロ儲カル場合ガ多クデアリマス、成ベク鹽ノ供給ヲ不足ニ
取テ置イテサウシテ漁業者ガ善クナレバ高ク賣ルト云フ考ヘ
テ居ル、其結果トシテ運賃ガ此漁業鹽ノ中ニ入りマス
カラ殆ド相場ト云フモノハ立タナイト云フヤウナ譯デ、非常
ニ慘澹ナラ漁業者ノ狀況ヨリ之ハ救済スルニハ、專賣ニシテ
ケレバナラヌト云フノデ、各方面ノ研究ヲサレマシテ、又政府
モイロイロ御意見ヲ伺ヒテ或ハ各方面ノ意見ヲ伺ヒマシタ
所、ドウシテモ鹽專賣ヲ施行スルノガ一番適當ト云フ考
ガ起リマス、全く御意見ノ次第モゴザイマセズ、唯今御話中
ニアリマシタ通り、收入ヲ目的トスルニ起リマシタノデア
リマス、ソレナラバ所管ノ問題デアリマスガ、御承知ノ通り樺太
廳ハ總テ相互行政デヤテ居リマス、ソマリ産業ノ方モ、財政
ニ付テモ、農商務省モ、大藏省モ皆一時ニヤテ居ル譯デア
リマスカラシマシテ、是ハ樺太廳ガヤラナケレバナラヌ、鹽業政策
ニ付テハ樺太廳ガ心配シナケレバナラヌ、又財政ノ上カラシテ
樺太廳ガ當然ヤラナケレバナラヌト云フヤウナ關係デ、全く
社會政策上ハ已ムヲ得ヌデアリマス、之ヲ當業者ニ任カセ
テハ到底是ハ圓滑ニ行フコトガ出來ナイ狀況デアリマスカ
ラドウシテ樺太ノ現況ヲ御諒察ナサイマシテ是非御贊成ヲ
願ヒタイト考ヘマス

貴族院明治四十年法律第二十一號中改正法律案外一件特別委員會議事速記第一號
大正十二年二月二十二日

○政府委員(永井金次郎君) 唯今大河内子爵ヨリ鹽專
賣ニ關シマスル色々ノ御意見ヲ承リマシテ、私ト致シマシテ
ハ大變仕合ニ存ジマス次第デアリマス、實ハ唯今大河内子
爵ノ申サレタヤウニ樺太ノ鹽專賣ヲ施行シヤウト云フ考ヘ
ハ、要スルニ社會政策ノ目的カラ出テ居ルノデアリマス、ト云
フノハ此制度ハ實ハ今日ニ考ヘ出シタモノデゴザイマセズ、
デ、數年前ヨリ調査研究シテ居タノデアリマス、所ガ樺太ノ
漁業鹽ノ缺乏ノ爲ニ當業者ガ非常ニ困テ居ルノデアリマ
ス、ト申シマスル、一朝漁業ガ盛ニ捕レマスルコトニナ
ルト、必ズ鹽ノ不足ヲ告ゲルノデアリマス、鹽ノ不足ヲ告ゲマ
シテ殆ド其魚類ヲ鹽藏ニスルコトガ出來ナカッタリ、或ハ鱧、
鮭、ノヤウナモノモ、魚類ヲ肥料ニ製造スルト云フヤウナコ
トデアリマス、其他不十分ナ爲ニ非常ニ腐敗ヲサセマスル
フヤウナ爲ニ、色々ナ爲ニ漁業者ノ蒙ル損害ト云フモノハ
少ナクナイノデアリマス、ノミナラズ、値段カラ申シマスルト
ル場合ニ於キマシテハ、八圓乃至九圓ト云フヤウナ相場ニ
上リマス、八圓九圓ト云フヤウナ相場ニ上リマシテ非常ニ高
イ鹽ヲ買ハナケレバナラヌ、從ヒマシテ漁業者ト云フモノ、苦
痛ト云フモノハドウシテモ名狀スベカラザルコトニナテ居ル、
斯様ナ高價ノ鹽ヲ用ヒマシテモ到底其供給ガ追付キマセ
ヌ爲ニ、唯今申シマシタヤウナ如何ニモ高價デアリコトガ出
來ナイ爲ニ、鮭、鱈ト云フモノハ、鹽藏カ出來ナイ、肥料ニ製
造スルト云フヤウナコトニナリマス、ト云フヤウナコトデ、漁業
者ト云フモノ、苦痛ト云フモノハ少ナクナイノデアリマス
ガ、從ヒマシテ家庭用ニ於キマシテモ影響ヲ受ケマスル爲ニ、
ソレハ非常ニ高價ナモノニナリマス、或ハ漬物ヲ漬ケマスル

○委員外議員(子爵大河内正敏君) 唯今伺ヒマシタ所
デ大體大ニ安心ヲシタ次第デアリマス、勿論樺太廳ニ於テ
大藏省トカ、農商務省トカニフ別ニ區別ノアル次第デア
リマセズ、デアリマスカラ、日本デハ内地ノ專賣ヨリハ寧ロ
樺太ノ專賣ノ方ハ私ハ弊害ガ少イト初メカラ實ハ思フテ居
ルノデアリマス、ソレデモウツ伺ヒテ置キタイノハ、樺太ニ於
ケル鹽業ト云フヤウナモノガ一體全マデアアルノデゴザイマセウ

カ、又ゴザイマセストシマシテモ、今後多少ノ發展ノ餘地其
他ガゴザイマセストシマセツカ、是ハ鹽田ノ方モ伺ヒタイ
ノデアリマスガ、同時ニ樺太ニハ鑛山或ハ岩鹽其他ノヤウナ
モノガアリマスカ、海水ニ依ラザル鹽業等ハ御見込ダゴザイ
マセデセツカ、ソレヲチヨット……

○政府委員(永井金次郎君) 現在ハ鹽ガ出來ナイガ、又
將來ニ於テモ先ツ岩鹽ナドハ殆ド見當リマセヌノデ、多分ナ
カラウト思ヒマス、併ナガラ鑛物ニ非常ニ富シテ居リマス、殆
ド鑛物ヤ石炭ガ主ナモノデアリマスガ(取テシ難シ)ニ依テ
鹽ガ出求ナイト云フヤウナコトハ議論ガアルサウデアリマス、
是ハ當分見込ハナカラウト思フノデ、要スルニ現在ニ於
テ……將來モ尙ホ製鹽事業ガ起ルマイト云フ見込デアリマス

○男爵東郷安君 私ハ唯今大河内子爵ノ御意見ノ前半
ニ對シテハ全然御同感ヲ表スル者デアリマスガ、後半ノ御
說明ノ中ニ、樺太ニ於テ將來製鹽業ノ發達スルコトガ可能
デアルカ不可能デアルカト云フコトニ對シマシテ、政府委員
ヨリ殆ド其見込ナシト云フ御意見デアリマスガ、此事ハ私
ハ相當ニ考慮ヲ要スルコトデアラウト思フノデアリマス、專
賣制度ノ存立ノ理由及ビ之ヲ維持スル理由ノ最モ重大ナ
ルモノハ、專賣制度ヲ布ク地域内ニ於テ、其專賣品ガ生産
セラレルト云フコトガ根本デアリマス、各國ノ專賣制度ノ何レ
ヲ見マシテモ、專賣品ガ其ノ國內ニ於テ生産セラレルト云フ
コトガ多クノ場合ニ於テ前提トサレテ居ルノデアリマス、例ヘ
バ内地ニ於ケル鹽ノ如キ又ハ臺灣ニ於ケル鹽ノ如キ……デア
リマスルカラシテ、若シ或品ヲ……製品ヲ專賣ニシヤウト思
テモ其製品ガ其ノ國內ニ於テモ生産セラレザル場合ニ於テ
ハ即チ全部ノ出テ國ヨリ輸入スル必要ノ有ル場合ニ於テハ、
是ガ取締其他ニ付テ專賣制度ヲ維持スルニ多大ノ困難ガ伴
フノデアル、之ニ依テ非常ニ犯則者ヲ生ズルト云フコトハ豫
期シ得ラレルトデアリマス、英吉利ガアノ國柄デアリナガラ
今日マデ煙草專賣法ヲ布キ得ナイト云フコトハ、彼ノ本國
ニ於テ煙草ヲ生産シ得ナイト云フコトガ其重ナル理由デア
リマス、故ニ私ハ今度ノ此專賣法ヲ布カレルトニ付マシテハ、
最モ此點ニ御考慮ヲ願ハナケレバナラヌコトデアリマス、共ニ樺
太ニ於テハ生産スル見込ハ無シ、全然外國カラ輸入シナケ
レバナラヌ必要ナル鹽ノ專賣ヲサレルト云フコトハ、要スル
ニ是ガ取締ニ付テハ餘程嚴重ナル取締ガ出來、並ニ供給ガ
完全ニ出來得ルト云フ前提ガナケレバナラヌ、然ニ樺太ノ如
キ多クノ漁船ノ出入スル所、殆ド全海岸ニ互ニ漁船ノ出
入ニ對シテハ、之ガ取締ニ當テ餘程困難デハナカラウト
思フノガ、私ノ此問題ニ對スル一ツノ大ナル疑點デアリノデア
リマス、ソレカラ今回ノ制度ヲ考案ナサイマシタ一ツノ大ナ

ル目的ハ鹽ノ供給ヲ良クシ、其價格ヲ相當ニ維持スルト云
フ點ニアルノデアリマスルガ、供給機關ノ完備及ビ是ガ圓滑
ヲ期スル上ニ於テハ、前提トシテ交通機關ノ完備整理ト云
フコトガ必要デアルト思フ、然ニ申上ダル迄モナク樺太ニ於
ケル所ノ交通ハ遺憾ナガラ現在ニ於テハ極メテ不備ナモノデ
アラウト思フ、而シテ今回ノ御豫定ノヤウニ、各所ニ鹽ノ貯藏
所ヲ置カレマスニシマシテモ、一體漁業ノ性質ト致シマシテ
其漁獲物ノ種類及ビ分量ト云フモノハ、極メテ突發的ノモ
ノデアルト私共ハ信ズルノデ、從テ其地方ニ於テ非常ニ大漁
ガアツテ、之ニ依テ俄ニ豫想以上ノ鹽ノ必要ヲ生ジテ場合ニ
ハ、之ガ供給機關ガ若シ完備シテ居ルナラバ、領土内ノ何レ
ノ所ニモ供給スルコトガ出來マスケレドモ、不幸ニシテ樺太
ノヤウナ所デアハ海路ニ依ルヨリ外仕方ガナイノデアリマスガ
ラ、時日モ要スルシ船ノ手配スルコトモ困難デアリマス、然
ラバ相當ニ供給ヲ圓滑ニスルト云フコトモ困難タラウト思
フ、此意味ニ於テ尙ホ且ツ當局ハ專賣制度ヲ完全ニ維持
シ得ラレルト云フ御見込デアリマセツカ、此點ヲ伺ヒタイ

○政府委員(永井金次郎君) 唯今東郷男爵ノ御尋デア
リマスガ、御尤モノ御説ト考ヘルノデアリマス、實ハ樺太ニ於
キマシテノ鹽ハ、現在ニ於テモ將來ニ於テモ岩鹽トカ海鹽
トカ云フヤウナモノハ、出來ナイ見込、皆是ハ輸入イタス見
込デアリマスガ、其輸入イタシマシテ、今日デハ殆ド供給
臺灣ナリノ鹽ハ非常ニ豊富デアリマシテ、今日デハ殆ド供給
過多ノヤウナ狀況ニナテ居ルノデアリマス、從ヒマシテ之ヲ
輸入イタシマスルニ付マシテハ、遠イ將來ハイザ知ラズ、現在
ニ於キマシテハ關東廳或ハ臺灣邊リカラ之ガ供給ヲ受ケマ
スルト云フコトハ、蓋シ困難ナコトデアナカラウト考ヘルノデア
リマス、デアリマスカラ之ガ樺太島内ニアリマセマデモ、供給
ヲ受ケルト云フ點ニ於テハ、差支ナカラウト思ヒマスガ、唯今
御心配ノ民間密輸入ヲシヤシナイカト云フ御心配モアリ
マシタガ、此點ハ一應御尤モノヤウデアリマスガ、漁業者ノ現
狀カラ考ヘルト其御心配ハ少イヤウニ考ヘルノデアリマス、
現在ニ於キマシテモ立網業者ハ樺太ニ於ケル暴利暴益ヲ
貪ル商人ノ鹽ヲ買フヨリモト云フノデ、專賣局ノ物ヲ直接
買テ居ル者モナイデアリマセマデ、是ハナカナカ苦痛デアリ
マス、樺太ノ漁業ハ皆皆ト云フ譯デアリマセマデ、元手ガ
非常ニ要リマスノデ、漁業上ノ元手ト云フコトニ付テモ少ナ
クナイ打擊ヲ被テ居ル、其上ニ鹽ヲ貯藏スルト云フコトハ
餘程困難デアル只一朝魚ガ取レマシタ時ニ之ヲ腐敗セシメ
ルトカ肥料ニスルトカ云フ苦痛ヨリハマダ宜イト云フノデ、苦
痛ヲ忍ビテ鹽ヲ貯ヘル者ガアリマセケレドモソレモ、僅ノ者デ
アリマス、僅ノ人ガ非常ナ苦痛ヲ忍ビテ大漁ニ備ヘル爲ニ貯

或ハ臺灣ナリ其他ノ外國鹽ナドヲ買入レテ密輸入ヲ企テ
ヤウナコトハ蓋シ無カラウト思ヒマス、又其取締ノ方法ハソ
レ等ノ地方トノ連絡ヲ結ビ置キマシタナラバ、取締ハ出來
マス積リデアリマス、事實無イト考ヘマスシ、若シ有リマシテ
モソレ等ノ取締ハ容易ニ出來ルコトデアリマス、度々ソレ
ヲ犯シテ犯則マデヤツテ、サウニ云フ密輸入ヲスルモノハ、事實ニ
於テ少カラウト思ヒマス、當局ニ於テハ取締上遺憾ナイコト
ト考ヘテ居ル次第デアリマス、ソレカラ唯今御話ノ交通機關
ノ不備ノ結果、供給ガ十分ニ行ハレナイデアリマシタ、云フコ
トデアリマスガ、此點ハ當局ニ於テモ苦心シ居ル次第デア
リマス、ソレデ樺太廳ト致シマシテハ、魚ノ取レル時期ハ極
テ居リマスカラ、其取レル時期ニ於テ相當仕入レテ置キマシ
テ、仕入レタ品物ハ樺太ノ樞要ナ場所、漁業ノ盛ナ場所ニ
倉庫ヲ設ケテ置キマシテ、鹽ノ貯藏所ヲ設ケタイ積リデアリ
マス、十四五箇所設ケル、大小合セマスルト十五箇所許リ
設ケル積リデアリマス、ソコニ相當ノ需要高ノ比例ニ依リマ
シテ相當イタシマシテ、サウシテ其需要ノ鹽梅ニ依テ是融
通スルト云フ計畫ヲ持テ居ルノデアリマス、是ハソレ等
ノ交通機關ノ不備ト云フ事柄モアルノデ、前以テ用意周到
ニ致シタナラバ萬算ナイコトガ出來ヤウト思ヒマス、之ヲ
要シマスルニ、交通機關ノ不備ノ御話ハ御尤ノコトデアリマ
スカラ、此點ニ付テハ當局者トシテ苦心イタシマシテ、出來
得ル限リ交通機關ノ不備ヲ周到ナル盡力ニ依テ救済シタ
イト考ヘテ居リマス、尙ホ又是等ノ點ハ總テ取締ト云ヒ、交
通機關ノ不備ト云ヒ、是等ノ點ハ全力ヲ以テ十分算ナク
ヤル積リデアリマス、少ナクトモ是ガ現在ノ慘澹タル狀況ニ
比シマシテハ、非常ナ改善改良ニナルト思ヒマス、其爲ニ當
業者ガ此制度ヲ布カレルトコトハ非常ニ熱望シテ居リマス、
又此制度ガ布カレマシタナラバ、當業者ノ便利ハ少ナクナイ、
多少當局モ不注意ノナイヤウニ致シテ居リマス、若シ若干ノ
手落ガアルトシマシテモ、現在ノ制度ト比較シテ非常ニ便利
ヲ得ルコトト考ヘマス、ソレ等ノ點ハ十分ニ注意ヲ致ス考デ
アリマス、東郷男爵ノ御意見トシテハ御尤モゴザイマスガ、
何卒樺太ノ現狀ニ御考ヘ下サイマシテ、御賛成ヲ乞ヒタイ
ト思ヒマス

○男爵東郷安君 供給機關ノ設備ガ未ダ完全イタシマセ
ス結果、御豫定ノ各地方ニ於ケル鹽ノ貯藏量ニ對シテ、相
當豫備ノ分量ヲ備ヘ置キニナラナケレバナラヌコトハ、
當然ノ結果デアラウト考ヘマス、唯今私ノ申上ダ
マシタコトヲ豫メ御備ヘニナルナラバ、貯藏量ハ相當
ノ分量ヲ御見込ニナラナケレバナラヌコト存ジマス、併ナ
ガラ漁業ノコトデアリマスカラ、何時如何ナル變動ガ生ジマ
シテ、其需要供給ノ關係ヲ破ラナイトモ限リマセヌ、ソレダカ

ラ貯藏量ニ對スル資本ノ減耗損失ト云フコトモ勘定ニ入
レマスルト、從テ全體ノ時專賣ニ於ケル費用ト云フモノヲ増
スト云フ結果ニナルト云フコトハ、是亦常識ヲ以テ考ヘラレ
ルコトデゴザイマス、從テ當局ニ於テハ飽ク迄モ收入主義デ
ナイト云フ御考アリマスケレドモ、其一點カラ考ヘマシテ
モ、尙ホ且ツ鹽ノ價額ノ昂騰ト云フコトノ原因ニナリハシナ
イカト私ハ思フノデゴザイマス、ソレカラ尙ホ若シ唯今ノヤウ
ナ御説明デゴザイマスルナラバ、各沿岸地方ニ存在スル所ノ
漁業組合水産組合等ヲ語ラテ、一ツノ鹽ノ配給ニ關ス
ル特殊ノ會社ヲ起サレタナラバ、或ハ其目的ヲ御達シナル
方便ニナリハセヌカ、是ハ何時デモ起ル問題デアリマス、官業
萬能主義デ御考ヘニナレバ、斯ル場合ニ鹽ノ專賣ヲ致サナ
ケレバ、到底目的ヲ達シ得ナイト云フモノ一ツデアリマス、又
一面民業ヲ助長發達セシメル、成ベク自由營業ヲ許シテ、
彼等ノ需要供給ハ彼等ノ間ニ互ニ調節セシメ、ソレ等ハ成
ベク政府ガ背景トナテ、配給機關ノ確定ヲ期スルト云フヤ
ウナ方法ニ出デラルルコトモ一案デナリカ、凡ソ政府ガ此制
度ヲ御採用ニナルト云フコトヲ御研究ニナテ居ラレマセウ
ガ、多分其様ナコトニ付テモ相當御考慮ニナツタカト存ジマ
ス、其點ヲ伺テ置キタイ

○政府委員(永井金次郎君) 東郷男爵ノ御問ニ御答イ
タシマスガ、此貯藏場ニ於ケル機關ハ唯今申シマシタヤウニ
十五箇所ばかり設ケルノデゴザイマス、ソレハ其貯藏所ニ
於キマシテハ其地方ニ於ケル生産高需要高ハ統計ニ於テ
現ハレテ居リマス、其現ハレタモノニ依テ相當ノ豫備ヲ備付
ケマシテ適當ノ配給ヲ致ス積リデアリマス、從ヒマシテ豫備
ヲ置キマスル結果トシテハ、枳減リ、自然ノ量減リモナイデハ
ナイト思ヒマスガ、是等ノコトハ相當見込ニテ値段ヲ決メテ
居リマス、其値段ハ現在ノ賣買價ヨリ非常ニ安ク行クノデ
アリマス、總テサウ云フ目減リノコトニ付テハ、相當考慮ニ
入レテ次第デアリマス、最後ノ御尋ネノ各組合ノ問題ノ御
話ノ如キ組合ニ依テサウ云フコトガ出來ナイカト云フ御話
モゴザイマシタ、實ハ組合ヲシテ、設ケサシテ今日ノ苦境ヲ救
濟サセタイト云フ色ノ手段ヲヤンテ見マシタガ、ナカクハ行
ハレマセヌ、或ハ水産會トカ漁業會ガアリマスガ、是等ノ組
合ノ活動ニ依テ、是等ノ組合ノ努力ニ依テ、現在ノ弊害ヲ
救濟シタイト云フ考モイタシタガ、ナカクハ色ノ關係
上行ハレマセヌ、ドウシテモ民間ノ者ガ、百年河清ヲ待ツ
ヤウナコトデナカクハ行ハレマセヌカラ、現在ヤンテ居ルヤンテ
居ルガ現在サウ云フ苦痛ヲ嘗メツツサウ云フ方法ニ行キマセ
ヌモノデアリマスカラ、今日マデハ殆ド手ヲ引イテ居ルト云フ
ヤウナ譯デ、東郷男爵ノ御話ノヤウナコトモ實ハ試ミマシタ
ガ、ソレハ到底行ハレナイヤウナ狀況デアリマス

○室田義文君 先刻來ノ御説明ニ依ルト、立網ト云フモ
ノハ多ク鹽ト云フモノヲ漁業者ガ使フコトニナテ居リマス、
今度專賣法ヲ布カレマシテ、例ハ秋鮭漁ト云フモノハ、コ
チカラ、外ノ方面カラ出テ居ルモノハ、入ルダケノ鹽ヲ集
メテ行クガ、ソレハ御許シニナルノデアリマスガ
○政府委員(永井金次郎君) 許シマセヌ積リデアリマス
○室田義文君 サウスルト先刻ノ立網業者ハ、從來鹽ハ
自分デ入ルダケノモノハ積ンデ行キマスガ、是等ハ專賣法ガ
布カレルト同時ニ出來ナイコトニナリマスガ
○政府委員(永井金次郎君) 御話ノ立網業者ハ現在
持テ行テ居リマスガ、今度ハ許シマセヌサウ云フコトヲ致
シマスルト、專賣制度ノ組織ノ計畫ニ影響シマスルノデ、立
網業者ガドレダケ持テ行クカ分ラヌシ、又買ヒニ來ルカモ知
レマセヌカラサウ云フコトハ餘程專賣ノ計畫ニ大イナル齟齬
ヲ來スト思ヒマスカラ、ソレデ立網業者ガ今日マデ積ンデ持
テ行タト云フノハ、便利ノ爲ニ持テ行タノデアリマセ
ヌ、樺太ノ同業者カラ買フヨリハ幾ラカ安ク買ヘルノデアリ
マスカラ持テ行キマス、ソレハ苦痛トシテ持テ行タノデア
リマスカラ、コレハ樺太廳ニ專賣ヲ設ケマシテ之ヲ安ク供給
スルト云フコトニナリマスレバ、立網業者ハ喜ンデサウ云フコ
トハ中止シテモ差支ナイト云フコトニナテ、其方ガ立網業
者ニハ便利トナテ居ル、今日ノヤウナ現況ナラバ立網業者
ハ直接買ヒマスガ便利デアリマスケレドモ、專賣法ヲ施行
ニナリマス、安心シテ供給ヲ受ケ、安全ニ買入レルコトガ出
來マスカラ、サウ云フ御心配ハ起ラナイヤウニ思ヒマス

○室田義文君 私ノ伺ヒマスコトハ或ハ違フカモ知レマセ
ヌガ、カムチャッカニ秋鮭漁ニ出テ行ク、舟多ク鹽ト人間
ヲ積ンデ行ク、向フニ行テ鮭ヲ取ルトソレヲ鹽ニシテ積ンデ
來ル、或ハ秋鮭ヲ鹽ニシテ積ンデ來ル、ソレデ漁業ニ出ル者
ハ必ズ内地カラ鹽ヲ用意シテ行クコト云フ慣例ニナテ居ルト
思ヒマス、樺太邊リニ於テモサウデアラウト思ヒマス、サウス
ト内地ノ專賣ガ價ヨリ鹽ガ安ケレバ、向フデアリマセ便利
カモ知レマセヌガ、内地ヨリ高ケレバ秋鮭漁ナドニ行ク者ガ
鹽ヲ積ンデ行ク者ガ殖エル譯ニナリマセヌカ、ソレハ禁ズルト
云フテモ、東郷男爵ノ心配サレルヤウニ、密輸入デナクテモ、
舟ノ上ニ鹽ヲ付ケテ持テ歸ルト云フ場合モ、ソレハ仕方ガ
ナイデハナイカ、其邊ハドンナ具合デ...

○政府委員(永井金次郎君) 唯今ノ御話シノヤウナコト
ハ現在ハアルノデアリマス、詰リ立網業者ハ漁業ニ行クニハ
鹽ヲ積ミ、歸リニハ魚ヲ積ムト云フヤウナ例モアリマス、アリマ
スガ、是等ハ矢張此樺太ノ、非常ニ危險ヲ圖シテヤンテ居
リマス、カムチャッカトカ或ハ尼港方面ニ參リマスヤウナ船
デアリマス、遠方デ鹽ガアリマセヌカラ、已ムヲ得ズヤルノデ
アリマスガ、樺太デアリマスレバ、是ハ非常ニ當業者ガ嫌ヒマ
ス、嫌フト云フコトハ途中デ遭難ガアリマスレバ、是ハ危險ノ
負擔ヲ致サナケレバナラヌノデアリマス、或ハ之ヲ積御シ積
込ニ對シテモ非常ニ手數デアリマス、之ヲ非常ニ嫌フノデア
リマス、免モ角供給ヲ確實ニ受ケラレナイト云フコトト、ソレ
カラ非常ニ暴利暴益ヲ隨販賣者ニ貪ラレルト云フコトハ、殘
念ダト云フノデ、已ムヲ得ズヤンテ居ルノデアリマス、鹽ヲ是カ
ラ樺太廳デアリマスレバ、サウ云フコトハゴザイマセヌ、又比
較的相場ヲ考ヘテ見マスルト、内地ヨリ移入シテ行キマスモ
ノヨリハ安ク見積テゴザイマスカラ、其心配ハナイノデゴザイ
マス、殊ニ關東鹽ナリ、青島鹽ナリノ内地ノ專賣局デ致シマ
スルヨリ多少安ク賣リマスルカラ、唯今ノヤウナ御心配ノ點
ハナイヤウニ考ヘル次第デゴザイマス、要スルニ今日立網業
者ノヤンテ居ルノハ、是ハ已ムヲ得ズシテヤンテ居ルノデ、好
ンヤンテ居ルノデアリマセヌカラ、將來樺太廳ガ鹽專賣ヲスル
ト云フコトニナリマスレバ、必ズ其事ニ從フダラウト思、テ居
リマス、殊ニ漁業者立網業者ノ組合ガアリマスガ、其組合ニ
諮問ヲ致シタノデアリマス、其諮問ノ答申ニモ、是ハ非常ニ結
構ナコトデアル、一日モ早くシテ貫ヒタイト云フ答申モ出テ
居ルノデアリマス、其御心配ノ點ハナカラウト考ヘテ居リマ
ス

○菅原通敬君 チヨット疑ガ起リマシタ、鹽專賣ノ施行區
域ト云フモノハ、樺太ノ管轄内ト云フコトニナルノデアリマ
スカ
○政府委員(永井金次郎君) サウデス
○菅原通敬君 海ノ領海區域ハドノ邊マデ及ブノデスカ
○政府委員(永井金次郎君) ソレハ矢張樺太廳ノ管轄
區域領海何里ト云フコトト同ジコトデハナイカト思ヒマス、
此樺太廳ノ政治、統治權ノ及ブ範圍内ハ總テ行ハレルノデ
アリマス、統治權以外ノ「カムチャッカ」北樺太ナドト云フ所
ニハ、適用ハ出來マスマイト考ヘマス
○菅原通敬君 例ハ樺太廳ニ於テ許可セラレタ立網區
域内ニ於テモ、直ニ小樽ナラ小樽、若クハ青森カラ船ヲ出シ
テ行ク者ガアリマス、ソレガ小樽ナリ或ハ青森カラ鹽ヲ積
ンデ向フヘ行ク、サウシテ向フデ鹽藏シテ持歸ルト云フ場合ニ
ソレハ鹽專賣法ノ違反ニナラヌノデスカ、ナリサウニアリマス
ガ、其取締ガ出來マセウカ
○政府委員(永井金次郎君) 其點モ考ヘテ見タノデアリ
マス、是ガ若シ樺太ノ領海外ニ於テ行ハレタラドウナルカト
云フ問題モアリマスガ、是ガ法律ノ適用問題ニ於キマシテ
ハ、其法律ガ樺太内ニ事業ヲヤンテ居ル、或ハ住居ヲシテ居
ルモノノ人ニマデ適用スルコトガ出來ルヤ否ヤト云フト、法
律ノ方ハ其人ニ依テ適用スルト云フ方ヨリ參リマス、其方

ハ取締付クヤウニ考ヘテ居リマス、領海デナクテ其樺太内ノ住民ニ對シテ法ノ適用ガアリマスレバ、領海外ニ於テ行ハレタモノモ取締ガ出來ルヤウニ思ヒマス、又併ナガラ之ヲ刑法上ノ問題ニマテモ致サヌデモ、相當行政法ノ方デ十分取締ガ出來ヤウト思ヒマス、大體當業者ノ不便不利デアリマシタラバ、諸般ノコトガ幾ラモ出來マセウガ、大體當業者ハ喜ンデ居ル制度デアルト考ヘマスカラ、此法ヲ濫用テマデ若クハ犯罪ヲアリマシテマデモ、此法ヲ濫用ルヤウナコトハ萬ナカラウト考ヘテ居リマス、併ナガラアリマシタ場合ニ於テハ、法ノ許ス限リ、法ノ解釋ノ許ス限リニ於テ相當ニ取締ガ十分ニ行ケヤウト考ヘテ居ル次第デゴザイマス

○菅原通敬君 鹽專賣ハ人ヲ目的トシテ行フノカ、或ハ地域即チ土地ト云フモノヲ目的トシテ行フノカト云フト、私ハ矢張地域ヲ目的トシテ行フモノト思フノデアリマス、樺太ノ領海内ニ於テ漁業ヲ營ンデ居ルカト云フテ、其人ノ消費スル鹽ハ總テ此樺太ノ鹽專賣法ノ適用ノ下ニ立タナケレバナラスモノト云フマデニ、抑ヘルコトガ出來ルデセウカ

○政府委員(永井金次郎君) ソコハマア法律上ノ解釋問題デゴザイマスカラ、私ハ能ク分リマセヌカ、出來ル積リデゴザイマス、例ハバ脱税ノ如キ問題ニシマシテモ、領海外ニ漁業ヲヤリマシテ、漁業ノ生産額ナルモノニ對シテ脱税ガアリマスレバ、其脱税ニ對シテハ、其樺太内ノ住居者若クハ會社ヲ持テ居ルモノニ對シテハ、十分脱税ヲ防グコトガ出來ルト同ジヤウニ、此專賣法モ樺太ノ住民ニ對シテ此專賣法ノ適用ハ差支ヘナイモノチヤナイカト考ヘテ居リマス、尤モ其樺太以外ノ人デアリマシテ居ルモノニ對シテハ、樺太内ニ住居ヲ致シ工場ヲ有シテ居ルモノニ對シテハ、出來ヤウト云フ解釋デアリマス、是ハ法律ノ適用論ノ問題デアリマスカラ、此邊ハ尙ホ研究ヲ致サナケレバナラスコトト考ヘマスガ、私ハサウ云フ見込デ居リマス

○男爵東郷安君 其點ニ付テ伺ヒタイノデスガ、例ハバ樺太ニ住居シテ居ル漁民ガ出漁ヲスル、沿海州或ハカムチヤカノ方面ニ出漁ヲスル、先方ニ於テ鹽ヲ購入、外國カラ供給ヲ仰イダトスレバ何トスル若シ「オコック」海方面ノ海上ニ於テ、サウ云フコトガアルトスルト、矢張領海外ノ方面ニモ專賣法ノ威力ガ及ブト云フコトニナリマスルト、非常ニ困難ナ事情ガ生ジテ來ヤシナイカ、其點ハ如何デス

○政府委員(永井金次郎君) 只今東郷男爵ノ御話ノ如ク、他人ノ領海ニテ居ルモノニハ適用ハ出來マイト思フテ居リマス、樺太内ノ……他ノ領海迄此範圍ヲ及ボスト云フ考デアリマセヌケレドモ、若シ領海外ニテ居リマシテモ、大體樺太ノ漁業ト看做ス場合ニハ、適用ガ出來ヤウト考ヘテ居リマス

○菅原通敬君 或種專賣法ノ適用ノ範圍トカ其效力トカ云フコトハ、色々議論ガアリマセウカラ、是ハ又御研究ニ委シテ置クコトニ致シマスガ、御話ノ通り免モ角漁業者ト云フモノニ於テ、專賣法ガ施行サレルト云フコトガ自分等ノ便宜デアリ利益デアルト云フコトニサヘ、能ク了解ニナテ居ルコトナラバ、其點ニ於テモ法ノ適用トカ云フコトニ付テ、餘リ苦情問題モ起ラスト思ヒマスカラ、ソコニハ安心シテ宜カラウト考ヘルノデアリマス、ドウ云フヤウニ御諮問ニナテ、ドウ云フ團體若クハ其漁業者達ガ、ソレニ對シテドウ云フ答申ガアッタノデアリマスカ、ソレヲ一ツ伺ヒタイ

○政府委員(永井金次郎君) 其案ノ諮問ヲ致シマシタノハ、一面當業者ノ詰リ鹽販賣者ナリ、或ハ住民ノ苦痛ヲ感ジテ居ルヤ否ヤト云フ點ニ付テ考ヘタノデアリマス、商業會議所ガ三箇所アリマシテ、大泊、豊原、真岡ノ三商業會議所ニ諮問イタシマシタ、之モ至極贊成デアルト云フ答申ヲ得テ居ルノデアリマス、當業者ト致シマシテモ、立網漁業組合ト云フモノガアリマシテ、此漁業組合ニモ諮問イタシマシタ、所ガ是亦異存ナイト云フコトデアリマス、其組合ノ關係ハ評議員ノヤウナモノガアリマシテ、評議員會ニ掛ケテ答申シテ居ル次第デアリマス、此内容ニ付マシテハ、略、關東廳ノ關東鹽ナリ或ハ青島鹽ナリ使ヒタイト云フコトデアリマシタ、マス、値段ノコトニ付マシテモ、現在賣テ居ル物ヨリモ廉ク行ケル見込ト云フコトヲ書イテ居リマス

○菅原通敬君 其鹽ノ關東州ノ碎粉トカ云フ物ガ最モ適當ダト云フコトヲ伺ヒタデアリマスガ、アレハ獨逸鹽其他ノ岩鹽ヲ多ク使ハレテ居タヤウデアリマスガ、是ハドウ云フコトデアリマスカ、今其方ハ餘リ多クアリマセヌカ

○政府委員(永井金次郎君) 此樺太廳ニ於キマシテハ多少英國鹽ノヤウナ物ヲ用ヒテ居ル者モアリマス、英國鹽ヲ用井タリ獨逸鹽ヲ用井タリシマスガ、一時外國鹽ヲ用ユルト云フコトハ樺太廳ノ漁業者ハ非常ニ嫌テ居タノデアリ、以前二ハ一割ニモ達シテ居ナイデシタ、此ノ外國鹽ヲ用ヒマスコトハ非常ニ嫌テ居リマシタノハ、要スルニ魚ノ質ヲ惡クスル、光澤ヲ惡クスルト云フヤウナコトニ付テ嫌テ居リマスノデ、内地鹽ニ比較シマシテモ非常ニ溶解力ガ惡イバカリデナク、切レ鹽トカ合ヒ、鹽トカ云フヤウナ場合合ニ合ハスト云フヤトナ點ガアッタノデアリマス、所ガ今日ノ統計ヲ取テ見マスルト、八割乃至九割マデ關東鹽ヲ用ヒテ居リマス、而カモ其關東鹽ノ成績ナルモノガ、關東廳ノ方デモ非常ニ改良シマシタガ爲ニ、内地鹽ト下餘リ變ラヌヤウニナリマシテ、要スルニ魚類ノ光澤ヲ損スルトカ、魚質ヲ損スルナド云フコトガナク、溶解力ニ於キマシテモ粉砕洗滌鹽ヲ用キマスレバ、其點ハ同ジダサウデアリマシテ、唯今デハ粉砕洗滌鹽ヲ用ヒタ

イト考ヘテ居リマスト云フナウナ譯デアリマシテ、先ヅ外國鹽ヲ用キルト云フ習慣ガ略、附クヤウデアリマスカラ、内地鹽ノヤウナ強クテ高イ物ハ用キナイデモ十分間ニ合フト考ヘテ居リマス

○菅原通敬君 ソレハ再製シタモノデセウカ

○政府委員(永井金次郎君) 粉砕洗滌鹽ヲ再製シタノデハナイサウデアリマス、再製鹽ハ此以外ニ又再製鹽ガアルサウデアリマス、再製鹽ハ更ニ再製ヲ致シマシテヤリマスヤウデアリマス、併シ粉砕洗滌鹽ハ主ニ魚類アタリニハ極ク上等デアリサウデアリマス、再製鹽デアルト、寧ろ家庭鹽ニ近クナルサウデアリマス

○菅原通敬君 此專賣ヲ御施行ニナルト、從來鹽ノ取引ヲ營業シテ居ル者ノ營業ガ自ラ止マルコトニナリマセウガ、是等ニ對シテハ勿論賠償トカ補償トカ云フモノヲナサル御積リニナテ居リマセウト思ヒマスガ、如何デアリマスカ

○政府委員(永井金次郎君) 從來ヤウテ居ル賣捌人トカ小賣商人トカ云フ者ニ對シテ、賠償ノ問題ハ致サヌ積リデアリマス、又致ス必要ハナイト考ヘマス、同時三元賣捌人モリ、又從來ヤウテ居ル小賣商人ナドハ、成ベク使テヤリタイト思ヒマス、樺太鹽專賣ヲ施行致シマシテモ、ソレ等ニ對シテハ從來經驗アル者ヲ使テヤリタイ、又彼等ノ營業ヲ脅カサナイヤウニ致シタイト云フノデ、元賣捌人ナリ小賣商人ナリ指定シテ行キマスカラ、別ニサウ賠償問題ハ起ラナイヤウニ考ヘマス

○男爵東郷安君 漁業鹽ハ普通食用鹽ニ比ベマシテ、專賣法デ特別價格ヲ以テ拂下ゲルコトニナテ居リマスガ、然ニ此ノ手續ガ内地ニ於キマシテハ頗ル煩瑣デアリマスルシ、ノミナラズ非常ニ時間ヲ要スルノデ、專賣法ノ運用ニ於キマシテ、此點ニ最モ從來非難ノ中心ノ點デアッタヤウニ聞及ンデ居リマス、今回モ同ジ制度ヲ御採用ニナルニ付マシテハ、此邊ノコトニ付テ餘程御注意ナリ御手配ガナケレバナラス、殊ニ短期間ノ漁業ノ收獲物ノ處理ニ對シテハ、非常ニ困難ノ生ズルコトデアラウト思ヒマス、從テ配給期間モ前申シマシタヤウナ次第デアリマスカラ、旁、憂慮シナケレバナラスト思ヒマスガ、如何デアリマスカ

○政府委員(永井金次郎君) 唯今東郷男爵カラ御尋ネノ御趣旨デアリマスガ、鹽專賣、此問題ニ付マシテハ、特別ニ樺太廳トシテ特別ノ漁業鹽ニ對シ、特別ノ價格ヲ以テ拂下ゲマスルト云フ制度ハ執テ居リマセヌ、唯今内地ノ專賣局デアラウテ居ルヤウナ手數ハナイ積リデアリマスニ來内地ノ專賣局制度ニ付マシテ多少非難ノ點モアリマシタシ、當業者モ少カラズ迷惑ガアッタサウデアリマス、今日ハ餘程ソレ等ノ點ハ樂ニナテ居ルヤウニ聞イテ居リマス、要スルニ内地

○菅原通敬君 此專賣ヲ御施行ニナルト、從來鹽ノ取引ヲ營業シテ居ル者ノ營業ガ自ラ止マルコトニナリマセウガ、是等ニ對シテハ勿論賠償トカ補償トカ云フモノヲナサル御積リニナテ居リマセウト思ヒマスガ、如何デアリマスカ

○政府委員(永井金次郎君) 從來ヤウテ居ル賣捌人トカ小賣商人トカ云フ者ニ對シテ、賠償ノ問題ハ致サヌ積リデアリマス、又致ス必要ハナイト考ヘマス、同時三元賣捌人モリ、又從來ヤウテ居ル小賣商人ナドハ、成ベク使テヤリタイト思ヒマス、樺太鹽專賣ヲ施行致シマシテモ、ソレ等ニ對シテハ從來經驗アル者ヲ使テヤリタイ、又彼等ノ營業ヲ脅カサナイヤウニ致シタイト云フノデ、元賣捌人ナリ小賣商人ナリ指定シテ行キマスカラ、別ニサウ賠償問題ハ起ラナイヤウニ考ヘマス

○男爵東郷安君 漁業鹽ハ普通食用鹽ニ比ベマシテ、專賣法デ特別價格ヲ以テ拂下ゲルコトニナテ居リマスガ、然ニ此ノ手續ガ内地ニ於キマシテハ頗ル煩瑣デアリマスルシ、ノミナラズ非常ニ時間ヲ要スルノデ、專賣法ノ運用ニ於キマシテ、此點ニ最モ從來非難ノ中心ノ點デアッタヤウニ聞及ンデ居リマス、今回モ同ジ制度ヲ御採用ニナルニ付マシテハ、此邊ノコトニ付テ餘程御注意ナリ御手配ガナケレバナラス、殊ニ短期間ノ漁業ノ收獲物ノ處理ニ對シテハ、非常ニ困難ノ生ズルコトデアラウト思ヒマス、從テ配給期間モ前申シマシタヤウナ次第デアリマスカラ、旁、憂慮シナケレバナラスト思ヒマスガ、如何デアリマスカ

○政府委員(永井金次郎君) 唯今東郷男爵カラ御尋ネノ御趣旨デアリマスガ、鹽專賣、此問題ニ付マシテハ、特別ニ樺太廳トシテ特別ノ漁業鹽ニ對シ、特別ノ價格ヲ以テ拂下ゲマスルト云フ制度ハ執テ居リマセヌ、唯今内地ノ專賣局デアラウテ居ルヤウナ手數ハナイ積リデアリマスニ來内地ノ專賣局制度ニ付マシテ多少非難ノ點モアリマシタシ、當業者モ少カラズ迷惑ガアッタサウデアリマス、今日ハ餘程ソレ等ノ點ハ樂ニナテ居ルヤウニ聞イテ居リマス、要スルニ内地

○菅原通敬君 此專賣ヲ御施行ニナルト、從來鹽ノ取引ヲ營業シテ居ル者ノ營業ガ自ラ止マルコトニナリマセウガ、是等ニ對シテハ勿論賠償トカ補償トカ云フモノヲナサル御積リニナテ居リマセウト思ヒマスガ、如何デアリマスカ

ノ專賣局デヤテ居ル特別鹽トシテ賣捌クヤウナ制度ハ、樺太廳ニ於テハ適用致サズ積リデアリマス

○男爵東郷安君 然ラバ内地ノ專賣法デ制定シテアル所ノ、特別定價ニ依テ購入シ得ベキ鹽ノ用途ノ種類ト云フモノニ付テモ、餘リ制限ヲナサナイ積リデアリマスカ、即チ鯉鱒鱒等ノ鹽藏用ニ限ルト云フヤウナ工合デ、鰯トカ鯖トカ鯉鱒トカ、ア、云フ物ニマデモンレハ中ニ這入デ居リマスカ、ソレ等ニ付テモ何等カ區別ガアリマスカ

○政府委員(永井金次郎君) 樺太廳ニ於キマシテハ、漁業鹽ト家庭用鹽ニ分ケル積リデアリマス、漁業鹽ノ中ニ是等ハ總テ種類ヲ分ケル積リデアリマスガ、粉碎洗滌鹽ヲ用ヒル積リデアリマスガ、將來ニ於テ鹽ト云フモノハ漁業ト云フコトニ非常ニ關係ヲ有テマシテ、鹽ノ改良ト云フコトハ從テ魚類ノ改良モ行ハレルコトデアリフスカラ、成ベク將來、魚類ノ改良ニ伴ヒマシテ鹽モ良イ鹽ヲ用キタイ、進ンデハ粉碎洗滌鹽以上ノ物ヲ用ヒル時ガアルカモ知レマセヌガ、今日ノ場合ニ於テ粉碎洗滌鹽ヲ用ヒ購入スル積リデアリマス、併ナガラ當業者ノ需要ノ關係モアル譯デアリマスカラ、將來ノ研究ニ俟ツコトニ致シタイト思ッテ居リマス

○委員長(子爵渡邊千冬君) 如何デセウカ、今日ハ是デ止メマシテ、質問ノ續キト討論採擇ハ此次ニ致シタイト考ヘマス

〔贊成〕ト呼フ者アリ
○委員長(子爵渡邊千冬君) 然ラバ、今日ハ是デ散會致シマス

午後二時五十八分散會

出席者左ノ如シ

委員長 子爵渡邊 千冬君
副委員長 男爵東郷 安君
委員 子爵牧野 忠篤君
男爵南岩倉 具威君
室田 義文君
菅原 通敬君
横山 章君

政府委員

拓殖事務局長 元田 敏夫君
樺太廳長官 永井 金次郎君
樺太廳事務官 石坂 豊一君

大正十二年二月二十六日印刷

大正十二年二月二十七日發行

貴族院事務局

印刷者 印刷局